

四十八瀬川勘七ノ沢

記 T村M

7/09(日)日帰り

メンバー: T村M、T村E、S田石K

勘七の沢は、先月神奈川県の沢教室で講師として参加したが、今回二度目の沢となった。もうこの時期の丹沢はヒルだらけで、かなりかまれてしまった。

2023/7/09(日)曇り一時雨

朝、5:30にS田石さんをピックアップし、東名高速で秦野丹沢スマートインターで降りる。このスマートインターができてからは、丹沢がかなり近くなった。

6:30 県民の森駐車場に到着。沢装備の支度をして出発。

駐車場を出て、勘七橋を越えるまで、道なりに進むのだが、手前の林道の分岐を二股への分岐と間違えて進み、30分ほどロスしてしまった。

7:50 二俣から勘七の沢に入溪。



8:15 F1 に到着。先行パーティーが通過するのを待って、ロープを出してのぼる。ここは登りだしが悪く、2m ぐらいのところにあるハーケンにかかった残置スリングを使い、一段上がるとあとはフリクションのきく壁を慎重に上がり滝の落ち口から回り込み滝上に出る。壁に打たれた支点で確保して二人を引き上げる。



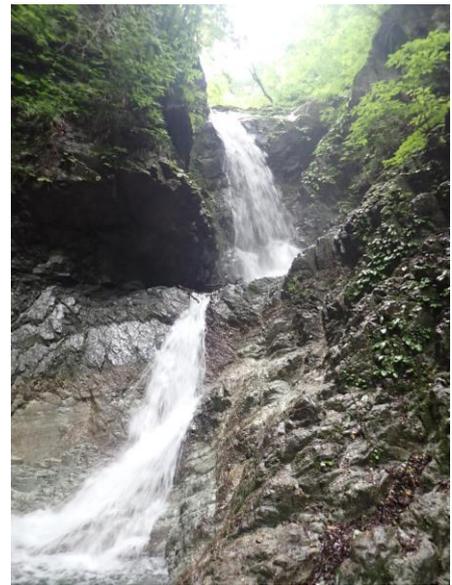
8:50 F2 は左岸の壁を5mほど登り、さらに3mほど上に上がり左岸を巻く。

[ここに入力]



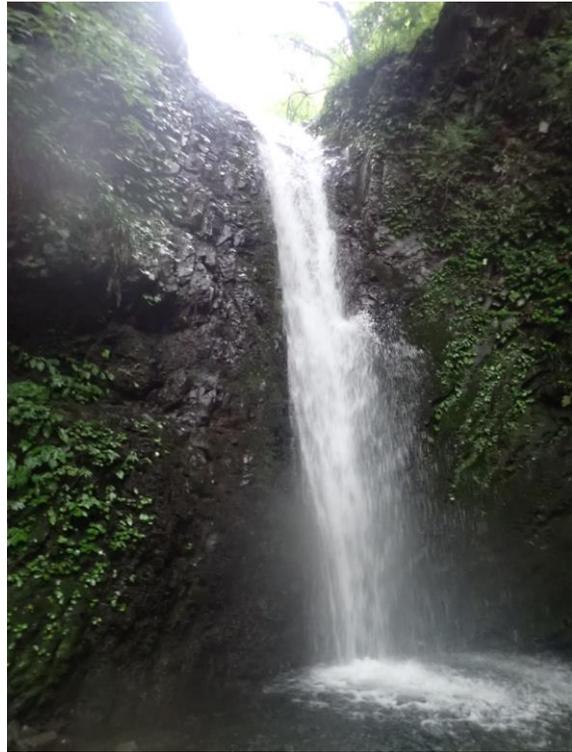
続くF3は左側のリッジを登れるが、左岸を簡単に巻けるので巻いた。

9:50 F4は2段になっている。1段上がると大きな釜の淵を右側から巻いて、2段目の滝は右側のルンゼを上がった。釜の淵にはハーケンが3か所あり、ロープを通し、2段目の滝の上のしっかりした木で固定をして二番目は固定ロープで、三番目は確保で登ってもらう。



しばらく堰堤が続き、F5(15m)滝に到着。前回より水量が多く、壁も濡れている。時間もかかりそうなので、右岸のルンゼを上がり、高巻くことにした。

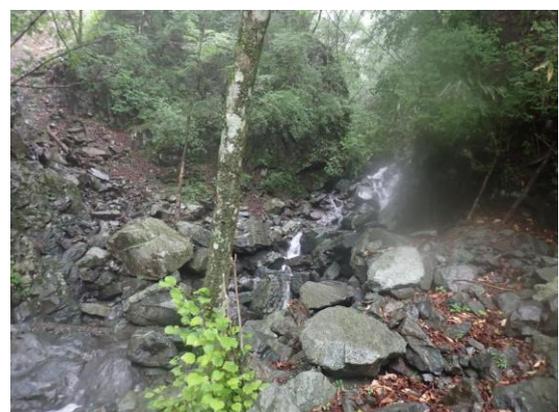
[ここに入力]



F5の後は、ミニゴルジュ帯となり、突っ張りやへつりで越えて行く。



ゴルジュを抜け890m付近で遡行終了。沢靴をアプローチシューズに替え左岸の尾根を大倉尾根に向い登って行く。



1時間半ほどの登りで、大倉尾根にでる。5分ほど休憩後、下山開始。堀山の家から二俣へ向けて尾根道を下る。

16:20 県民の森駐車場に到着。ここで持物や体に付いたヒルを払い帰路に就く。

[ここに入力]

コースタイム : 7:10 県民の森～7:20 道間違い(ロス)～7:54 二俣(勘七ノ沢入溪)～8:15 F1～8:51 F2～9:27 F3
～9:52 F4～12:00 F5～13:05 890m 終了点～14:26 大倉尾根～14:48 堀山の家～15:52 二俣～16:20 県民の森

【ここに入力】